

第 18 回理事会 議事録

日 時：平成 22 年 10 月 24 日（日）

10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：ホテルサンルート長野東口

出席者：新保，竹内，市川，青木，宮永，中澤，坂口，勝野

委任状：若月，花岡

I. 開 会

II. 会長挨拶

III. 議 事

1. 報告事項

- 【1】会員変更報告
- 【2】決算総会報告
- 【3】上半期事業報告
- 【4】その他

2. 協議事項

- 【1】会員入会および退会の承認
- 【2】県学会の準備状況に関する報告・承認
- 【3】次々期学会長の承認
- 【4】重点項目に関する報告（公益法人準備委員会報告）
- 【5】その他

3. 今後の主な日程

IV. 閉 会

議 事

1. 報告事項

- 第 197 回運営会議 平成 22 年 6 月 19 日（土）開催 稲荷山温泉杏泉閣
第 198 回運営会議 平成 22 年 8 月 6 日（金）開催 安曇総合病院
第 199 回運営会議 平成 22 年 10 月 1 日（金）開催 安曇総合病院

【1】会員変更報告（H22.5.8～H22.9.27）

異動変更）69 名

- ・ 山口 尚人 (社会福祉法人ちいさがた福祉会 高齢者総合福祉施設ちいさがたの家
→社会福祉法人ちいさがた福祉会デイサービスセンターともがき)
- ・ 宮脇 千史 (自宅→松本市役所こども部こども福祉課)
- ・ 臼井 敏雄 (城西病院→社会福祉法人駒ヶ根市社会福祉協議会)
- ・ 内山 恵 (上伊那生協病院リハビリテーション課 →上伊那生協病院訪問リハビリテーション課)
- ・ 宇治 香菜 (上伊那生協病院リハビリテーション課 →上伊那生協病院訪問リハビリテーション課)
- ・ 大槻 秀和 (上伊那生協病院リハビリテーション課 →上伊那生協病院訪問リハビリテーション課)
- ・ 川上 雅実 (長野中央病院→一之瀬脳神経外科)
- ・ 清水 万紀子 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 →長野医療技術専門学校)
- ・ 島田 克充 (長野県立総合リハビリテーションセンター→山田記念朝日病院)
- ・ 山浦 さやか (国保依田窪病院→介護老人保健施設 愛の郷)
- ・ 荒井 千史 (うえだ敬老園→長野中央病院)
- ・ 中村 仁子 (老人保健施設ふるさと→長野中央病院)
- ・ 石垣 瑞穂 (丸の内病院→自宅)
- ・ 内山 恵理 (豊科病院→竹重病院)
- ・ 宮島 光太 (市立岡谷病院→健康保険岡谷塩嶺病院)
- ・ 小池 美佳 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター地域医療部)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院)
- ・ 松井 おりえ (山形協立訪問看護ステーションなでしこ→塩尻協立病院)
- ・ 牧内 恵 (老人保健施設コスモスさいなみ→老人保健施設コスモス長野)
- ・ 棚岡 恵 (千曲中央病院→長野県立総合リハビリテーションセンター)
- ・ 山田 由紀 (施設名変更, 秋城医院花の道クリニック→老人保健施設花の道)
- ・ 湯本 正美 (伊那圏域障害者総合支援センター→自宅)
- ・ 相葉 葉月 (老人保健施設須坂やすらぎの園→愛ランドまめじま)
- ・ 渡辺 萌衣子 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター地域医療部)
- ・ 林 典子 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター地域医療部)

- ・ 原 沙織 (老人保健施設はびろの里→自宅)
- ・ 竹間 香 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター地域医療部)
- ・ 三澤 由美 (長野中央病院→老人保健施設ふるさと)
- ・ 清水 彩子 (介護老人保健施設はやしの杜→健和会病院)
- ・ 萩原 亜弥恵 (協立訪問看護ステーションすみれ→山形協立訪問看護ステーションなでしこ)
- ・ 渡邊 徹 (下伊那厚生病院→北信総合病院)
- ・ 大久保あゆみ (介護老人保健施設 御所苑→丸子中央総合病院)
- ・ 小林 瞳 (自宅→長野県立駒ヶ根病院)
- ・ 相葉 葉月 (株式会社石田福祉サービス 愛ランドまめじま→自宅)
- ・ 岡村 駿佑 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター介護療養型老人保健施設いずみの)
- ・ 森川 友貴 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院)
→鹿教湯三才山リハビリテーションセンター介護療養型老人保健施設いずみの)
- ・ 長澤 真理 (老人保健施設 かりんの里→自宅)
- ・ 鳥羽 伸生 (小林脳神経外科神経内科病院→城西病院)
- ・ 伊藤 直樹 (諏訪湖畔病院→町立辰野総合病院)
- ・ 牛山 士巳 (塩尻協立病院→協立訪問看護ステーションすみれ)
- ・ 浅井 弘子 (介護老人保健施設ハーモニー→自宅)
- ・ 濱 朋佳 (まほろばの郷→カーサ・テ・ソル諏訪湖)
- ・ 竹原 亜弥子 (千曲荘病院→自宅)
- ・ 吉島 拓矢 (城西病院→介護老人保健施設ロングライフ塩尻)
- ・ 白石 慧太 (自宅→伊那訪問看護ステーション)
- ・ 中澤 博幸 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院分院 →鹿教湯病院)
- ・ 大塚 英樹 (鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 地域医療部→鹿教湯病院)
- ・ 岩下 さつき (一之瀬脳神経外科病院→自宅)
- ・ 大田 雄也 (自宅→上山田診療所)
- ・ 小林 千浩 (松本協立病院→大町協立デイサービスセンター)
- ・ 藤林 麻衣子 (改姓 北原→藤林, 上伊那生協病院→山田記念朝日病院)
- ・ 中西 靖代 (改姓 上山→中西, 栗田病院→自宅)
- ・ 加藤 千佳 (改姓 山根→加藤, 山根恵仁会くろさわ病院 →介護老人保健施設安寿苑)
- ・ 吉田 瑠璃 (改姓 中田→吉田, 相澤病院→自宅)
- ・ 湯浅 暁子 (改姓 溝上→湯浅, 介護老人保健施設寿の里→自宅)
- ・ 橋爪 明奈 (改姓 小玉→橋爪)
- ・ 込山 景子 (改姓 込山→波場)
- ・ 河崎 裕美 (改姓 河崎→小林)
- ・ 武藤 志穂 (改姓 岩上→武藤)
- ・ 清水 春美 (改姓 北原→清水)
- ・ 関川 まどか (改姓 市川→関川)

- ・ 岩崎 夏美 (改姓 小林→岩崎)
- ・ 村井 早苗 (改姓 村田→村井)
- ・ 松井 杏奈 (改姓 梨本→松井)
- ・ 小林 あす香 (改姓 中村→小林、住所変更)
- ・ 高橋 侑子 (改姓 高橋→大和、住所変更)
- ・ 岡田 文江 (改姓 岡田→富岡、住所変更)
- ・ 寺尾 由紀 (住所変更)
- ・ 湯本 正美 (住所変更)
- ・ 前田 睦美 (住所変更)

【2】決算総会報告

5月の総会資料を参照。会員からの指摘事項はなく決裁されたこと報告する。

【3】上半期事業報告

1) 事務局

①会議報告

会議開催状況

平成 22 年	4 月 10 日	第 196 回運営会議	鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院
		PT・OT・ST 連絡協議会	
	5 月 23 日	第 17 回理事会	ホテルサンルート長野東口
	6 月 19 日	第 197 回運営会議	稲荷山杏泉閣
	6 月 14 日	第 11 回総会	篠ノ井市民会館
	7 月 30 日	第 1 回三役会議	厚生連 安曇総合病院
	8 月 6 日	第 198 回運営会議	厚生連 安曇総合病院
	10 月 1 日	第 2 回三役会議	厚生連 安曇総合病院

②新入，転入会員・退会会員の把握

新入会員 126 名 (内 新卒者 112 名，その他 14 名) 休会 42 名 退会 2 名

(平成 22 年 8 月 31 日現在 正会員 950 名 賛助会員 13 社)

③平成 22 年度会員名簿発行

平成 22 年 10 月 発行 発行部数 1000 部

④総会議案集の作成 第 11 回総会

⑤(社)日本作業療法士協会会員管理システムへの参画

⑥在庫書籍，印刷物などの管理

・受領冊 11 冊

⑦外部及び士会内の事務連絡・調整

⑧文書管理業務 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 27 日)

・受領 347 通 発送 87 通

⑨特別民法法人 実施検査 1 の対応

2) 財務部

- ①自動退会者対応や県の会計監査への対応を行った。
- ②平成 22 年度一般会計・上半期決算報告
- ③会計処理規定の変更についての報告

3) 学術部

①会議報告

- 平成 22 年 5 月 19 日 第 1 回学術部会議
- 平成 22 年 6 月 23 日 第 2 回学術部会議
- 平成 22 年 8 月 4 日 第 3 回学術部会議
- 平成 22 年 8 月 25 日 第 4 回学術部会議

- ②学術誌第 28 巻の編集，印刷依頼（平成 22 年 9 月発行予定，発行部数 1100 部）
- ③学術関連資料の整理・管理（視聴覚教材，出版物ほか） 継続
- ④オンラインジャーナル登録 継続
- ⑤学術誌原稿の執筆に関する講習会を企画・検討 継続

開催日時：平成 22 年 12 月 18 日 14：00～16：00

場 所：県立こども病院

対 象：長野県県士会員 予定

4) 広報部

①作業療法説明会

7 月 2 5 日（日）

長野市の「もんぜんぷら座」にて「作業療法説明会」を開催

出席者：広報部員のほか、県内の養成校の教員に協力していただいた。

- 内 容：1. OT 協会の「作業療法ガイド」と簡単なアンケートを配布
- 2. 協会制作の DVD 「私の選択 作業療法士をめざす」を閲覧
 - 3. 個々に作業療法について相談
 - ・養成校の紹介とどんな授業などを受けるのかなど
 - ・作業療法士になってからの実際の仕事について
 - ・その他の相談
 - 4. アンケート記入、回収

参加者：6 名

学年		性別	
2 年生	3 年生	男	女
2 名	4 名	1 名	5 名

参加者の感想として、

- ・作業療法に興味を持てた。
- ・進路に向けて参考になった。
- ・理学療法と作業療法の違いがわかった

などで、すべて好印象をもたれた回答であった。

今後の課題

- ・ 開催時期：信州大学の医学部のイベントと重なってしまった。
- ・ 開催場所：北信地区のみで行った、県内各地で行なうことは現状では困難
- ・ 告知方法：高校への通知のみ、地方紙などへの告知も考える。
- ・ 参加者(対象)：高校3年生では遅いので高校1、2年生を対象にする。

新保：開催場所は固定されているのか？

青木：来年度も北信地区になる可能性がある。体験者が少ないようなら開催地区の変更検討も必要。

②作業療法体験見学

8月1日～9月25日

会員の所属する見学を受け入れ可能な施設に依頼して実施

実施結果

見学者受け入れ施設（計6施設）

地域	施設	受け入れ人数	男性	女性
北信	長野赤十字病院	9	2	7
中信	相沢病院	5	1	4
	安曇総合病院	2	1	1
南信	諏訪赤十字病院	1	1	0
	飯田市立病院	10	2	8
	信濃医療福祉センター	3	0	3
計		30	7	23

見学した高校生の地域分布

地域	男性	女性	計
北信	2	8	10
中信	2	6	8
東信	1	0	1
南信	2	9	11
計	7	23	30

実施施設アンケート回答

<高校生との連絡方法について>

- ・ 他部署を見学していた学生が、アポなしでOT見学を希望
- ・ 学校を通さず、学生個人でバラバラに連絡をとってきた
- ・ 診療時間中にかけてくる学生が多かった

<OT体験を通し困った事・感じた事>

- ・ 良かった点/ある程度の子備知識や情報（パンフレット）などを持参。
- ・ OTの認知度が上がっている事を実感。OTを知ってもらいいい機会である。
- ・ 改善点/治療場面で、患者さんに対し“かわいそう”“痛そう”などのマイナスの声か

け個人情報保護を配慮するため、見学スタイルに困った。

- ・ 一日見学は長い、短時間で十分である。
- ・ 個人差はあるが、挨拶や振る舞いなどの基本的なマナーが欠ける者がいた。
- ・ 「先生に言われて来た」と答える学生も多数いた。
- ・ 見学実施前に、もっと学校側から OT の説明があったほうがいいのでは。
- ・ 一度に多数見学者がいたため、体験してもらう器具が足りなくなった。

<来期の見学受け入れについて>

「はい」 4 「いいえ」 1

- ・ 近隣のどの施設が受け入れを了解しているか事前に知りたい。
- ・ 学校の先生が仲介するのはいいが、伝えたはずの内容が通知されていない印象を受けた

高校生へのアンケート回答

<OT をいつ、どのように知ったか>

- ・ 中学校・高校の時が多数。テレビや職場体験、オープンキャンパスなど。
- ・ 身近な人が OT のお世話になったや、親が医療職についていることから知った

<OT を体験・見学しようと思ったきっかけ>

- ・ 進路の参考に（医療職に興味ある）という意見が大半
- ・ 「学校の宿題」との回答があり（1名）
- ・ 県士会からの見学体験の案内を見て知った

<OT 見学した感想>

- ・ 患者さんとの触れ合いは大切だと実感し、楽しかった。
- ・ 想像以上に治療内容が多岐に渡っており、使用する道具が多いと知った
- ・ やりがいのある仕事だと思った

<今後どのようなことを知りたいか>

- ・ 学校の種類や必要な資格
- ・ 見学した以外のリハビリの種類や方法
- ・ 専門の施設での OT の仕事
- ・ 発達障害の治療場面
- ・ 無回答や「もっといろんな事」などのアバウトな回答も多い

<その他感想>

- ・ 進路選択の参考になった
- ・ いい経験になった、改めて OT になりたいと思った

市川：県下の協力施設は複数あるのか。

坂口：県下に複数ある。立地条件等で出見学者数に偏りがある。

青木：院内の他部署と合わせて見学に来る場合もあり、実見学者数は記載者数より多いだろう。

竹内：事前連絡のない見学者が多いのが実情。

③日本作業療法士協会作成のポスター配布

「作業療法の日」 9月25日にあわせて会員が所属する施設190施設に配布

5) 福利部

①新入会員歓迎研修会・歓迎交流会

日時：平成22年6月19日（土） 13:20～18:50

場所：式典・研修会 稲荷山温泉 杏泉閣

長野県千曲市稲荷山 571-1 Tel 026-272-1154

参加者数 99名（中信 27名 東信 21名 北信 14名 南信 37名）

歓迎交流会新入会員参加者：92名

（中信 23名 東信 21名 北信 14名 南信 34名）

現職会員参加者：23名

②作業療法開設・介護保険診・診療報酬・臨床実習の相談窓口

③協会との福祉機器・倫理・保険関係の窓口

6) 渉外部

関連団体会議等

長野医療技術専門学校入学式 4月3日 青木会長出席

長野県言語聴覚士会十周年記念祝賀会 9月5日 青木会長出席

他団体後援依頼検討等

協賛・後援名義使用の了承（承認済み）

a. 第58回 日本医療社会事業全国大会、第30回 日本医療社会事業学会

期 日：平成22年5月28日（金）～ 29日（土）

会 場：メルパルク長野

b. 第59回長野県社会福祉大会

期 日：平成22年9月8日（水）

会 場：あんずホール（更埴文化会館）

c. 平成22年度長野県歯科衛生士会健康グレードアップながの21推進事業

県民公開講座「お口の元気がハッピーを招く」

期 日：平成22年10月17日（日）

会 場：松本歯科大学図書会館

d. 第3回信州リウマチネットワーク市民公開講座

日本リウマチ友の会50周年記念事業

期 日：平成22年10月3日（日）

会 場：JA長野県ビル アクティールホール

e. 2010年夏季特集号広告協賛（医療タイムス社）

確認事項（通年）

- ・ 長野県 PT・ST 各士会の企画に対しては特に依頼がなくとも互いに協賛・後援することとし名義使用を許可する。
- ・ 長野県下の医療福祉団体の定期的な企画に対しては前年度に同様の協賛・後援の検討

がある場合、渉外部の判断で了承対応する。

- ・ 県士会員がその催しの運営や講師などに関わっている場合、原則として協賛・後援の了承をする。

7) 教育部

①第 47 回長野県作業療法士会研修会（春の研修会）

日 時：平成 22 年 6 月 20 日（日）

会 場：長野市篠ノ井市民会館

内 容：テーマ「地域生活移行支援推進の中での訪問リハビリの現状と課題」

講 師：河本 のぞみ氏（訪問看護ステーション住吉 作業療法士）

中村 春基氏（日本作業療法士協会 会長）

研修会長：飯尾 範子（長野中央病院）

参加者数：会員 340 名 他職種 2 名（PT 士会員のため、会員扱い）

②現職者共通研修

a. 日 時：平成 22 年 7 月 11 日（日）

会 場：松本大学（松本市）

内 容：4 講座

参加者数：延べ 115 名

③現職者共通研修 事例検討・事例報告

日 時：平成 22 年 8 月 29 日（日）

会 場：長野市篠ノ井市民会館（長野市）

参加者数：のべ 115 名（座長 6 名）

8) 事業部

①第 39・40・41 回市民公開講座の開催

しょうがいの理解と支援「くらしを創る～作業療法士の技と心～」

a. 分科会の内容：発達障害、身体障害、精神障害、老年期障害の 4 分野 7 講座を実施。

分科会 A：認知症「リハビリテーションとは？活動の支援を考える」

「認知症の理解と作業療法士としての支援」

「認知症ケアで活かせる作業療法の視点」

分科会 B：脳卒中や頭部外傷等による高次脳機能障害の理解と支援について

分科会 C：精神障害「精神科ってどんなところ？」

「暮らしの中の活動と支援」

「よりよいコミュニケーションを考える」

分科会 D-1：発達障害「発達しょうがいの理解と支援 基礎編」

分科会 D-2：発達障害「乳幼児期～学童期の支援」「対人関係と社会性の発達」

分科会 D-3：発達障害「感覚特性と感覚統合の発達」

分科会E： 肢体不自由・重症心身障害

公開講座 会場別・分科会別 参加者数

開催日	会場	場 所	分科会							
			A	B	C	D-1	D-2	D-3	E	合計
8/22	箕輪	箕輪町文化センター 地域交流センター	6	13	5	9	25		5	63
9/ 5	松本	松本大学	6	7	6	14	23	46	4	106
9/26	長野	長野医療技術専門学校	11	8	6	5	27		2	59
		分科会別参加者合計	23	28	17	28	75	46	11	228

b. 講師・助言者一覧

開催日	会場	分科会講師（上段）・助言者（下段）						
		A 認知症	B 高次脳	C 精神	D-1 発達	D-2 発達	D-3 発達	E 肢体
8/22	箕輪	古村 香 桐山 香織	土屋美千子 川瀬 雅美	荒井留美子 川村 聡子	木村 一恵 水口 直美	宮脇 千史 池口美紀子		河西 聡美 熊谷美砂子
9/ 5	松本	宮脇 利幸 鈴木 幸子	並木 幸司 吉原 重弘	山口 孝子 佐野紀九恵	伴 純一 原 絵里香	日詰恵里子 吉越久美子	岡本 武己 松下 雅子	明田 繁 滝脇 裕美
9/26	長野	石原 暢昭 中村 仁子	松井 典子 深町 泰子	小林美保子 城所 友紀	湯本 正美 小林 充	三ツ井直美 松下 雅子		明田 繁

c. 運営協力：入会4年目の会員を中心として32名の協力を得て運営した。

d. 後援団体

長野県，箕輪町，長野県自閉症協会，社団法人日本作業療法士協会，
社団法人長野県理学療法士会，長野県言語聴覚士会

e. 広報活動

- ・地元紙および信濃毎日新聞等のイベントコーナーに掲載
- ・リーフレットの作成（14000部）：関係機関1850ヶ所と県内作業療法士勤務施設及び自宅会員施設（合計250ヶ所）に送付。
- ・県内作業療法士勤務施設への広報の依頼。
- ・リーフレットの追加要望：22施設 約1800枚

②啓発用テキストブックの作成

時 期：平成22年7月

対 象：市民公開講座参加者および関係者，学生

発行部数：450部

内 容：「しょうがいの理解と支援」

はじめに

第1章：認知症

第2章：高次脳機能障害（脳血管障害、頭部外傷等の後遺症）

第3章：精神障害

第4章：発達しょうがいの理解と支援〈基礎編〉

第5章：幼児期～学童期，対人関係と社会性の発達

第6章：感覚特性と感覚統合の発達

第7章：肢体不自由・重症心身障害

長野県内 作業療法士所属施設一覧（資料）

③第8回ながのこども療育用具・福祉機器展への出展計画

平成22年12月5日（日）長野県松本文化会館にて開催予定.

④人材情報の蓄積について

・人材情報バンクのデータ集計，問い合わせ・紹介の流れ，人材バンクの活用について検討.

竹内：表記で「障害」と「しょうがい」が混在している．一つの企画内では統一した方が良いのではないか.

青木：県士会としての統一はないが，企画担当者が表記のルールを定めて運用していく事が望ましい.

新保：総括は改めて報告してもらえるのか.

青木：年度末の理事会で報告する.

9) 地区部

*北信支部：

・9月4日 新入会員歓迎会 参加：15名（内新人会員8名）

・10月23日 PT・OT・ST連絡協議会（予定）

*東信支部：

・東信地区新人・転入会員名簿の作成

・佐久広域連合障害程度区分認定審査会および介護認定審査会委員候補の選出

・PT・OT・ST連絡協議会（交流会）開催検討（11月頃予定）

*中信支部：

・8月28日 PT・OT・ST連絡協議会 23名参加（PT12名，OT11名）

・支部員の変更：濱 友佳氏（まほろばの郷） → 城倉 祐紀氏（桔梗ヶ原病院）

*南信支部：

〈諏訪地区〉

・諏訪地区PT・OT・ST連絡協議会開催協力

・創立30周年記念式典実行委員会への協力

〈上伊那地区〉

・上伊那リハビリテーション症例検討会への協力および開催

4月23日(金)伊那中央病院 講堂 参加者:PT・OT・ST70名

・上伊那OT交流会

6月4日(金)伊那市内 参加者:OT17名

・上伊那地域の新人OTを対象とし高次脳機能勉強会の協力及び開催(年4回)

伊那中央病院 講堂 参加者:10名

〈下伊那地区〉

・学習会および懇談会

6月26日(土) シルクホテル 参加者:PT・OT・ST77名

・飯伊地区OT勉強会への協力

7月9日(金) 参加者39名

市川:各地区の活動報告にてPT・OT・ST連絡協議会や交流会と名称が混在しているが、PTでは「PT・OT・ST連絡会」としている。改めてこのPT・OT・ST連絡協議会の名称を三士会で統一した方が良いのではないか。

青木:統一する方向で検討していく。

10) 委員会報告

*規約委員会

定款変更の案の作成

*表彰委員会

①協会表彰推薦検討中

*公益法人移行準備委員会

公益法人に関する法律等の情報収集と学習

新公益法人制度移行手続講習会

時 期:平成22年8月21日

場 所:行政書士会館

内 容:移行のポイント、定款変更の案等

委員会の開催2回

組織図の見直し

移行認可までのスケジュール(申請から認可まで4カ月くらいはかかるとのこと)

事務所の選定、事務員探しなど

会計事務所に相談

*調査委員会

第1回委員会(平成22年5月30日)

a. 今年度調査内容についての検討。

それぞれの分野で、前回(平成20年)調査において不十分だった点について再調査する。

身障・・・回復期をもっている施設

老年期・・・個人宛に研修や研鑽の機会
自宅会員・・・非常勤などで働いているか

第2回委員会（平成22年9月23日）

前回調査内容については、県士会ホームページに掲載（6月8日）

⇒ 自宅会員へのアンケートは、調査項目を絞って負担にならないように検討する。

*選挙管理委員会

・特になし

【4】その他

宮永：平成23年11月20日に県士会の30周年記念式典を長野の齋北館で行う予定である。

実行委員長は佐藤陽子さん。来年度支出の計画案作成の中で大きな金額が予算計上提案される見込み。

2. 協議事項

【1】会員入会および退会について

入会申請者）1名

・ 中村 賢二 （上伊那生協病院 訪問リハビリテーション課）

復会申請者）2名

・ 橋詰 陽子

・ 北島 いずみ

退会申請者）7名

・ 大井 梨恵

・ 藤森 仁

・ 神出 亜里沙

・ 三井 健明 （自動退会）

・ 戸谷 敏男 （自動退会）

・ 柄澤 奈央子 （自動退会）

・ 南原 高資 （自動退会）

休会申請者）1名

・ 大和 侑子

正会員数 : 950名

休会者数 : 42名

賛助会員 : 13社

平成22年9月27日現在

→承認

【2】県学会の準備状況に関する報告・承認

第27回長野県作業療法学会 概要について

→承認

【3】次々期学会長の承認

長野県立 須坂病院 リハビリテーション科

竹内 晴美（たけうち はるみ）

職歴：

1987年3月 国立療養所東名古屋病院附属リハビリテーション学院卒業

同年4月 長野県身体障害者リハビリテーションセンター

（現 県立総合リハビリテーションセンター）入職

2003年4月～ 県立須坂病院勤務

県士会での活動など：

2003年4月～2007年3月 県士会報編集委員長

→承認

【4】重点項目に関する報告（公益法人準備委員会報告）

組織図について

分掌事項について

■法人移行準備委員会について

青木：新法人制度（一般法人）への移行に向けて新しい定款を作成し、決算総会前（来年4～5月）までに申請したい。定款を作るにあたり組織の見直しを図りたい。

〈検討事項〉

- ①理事会構成メンバーを検討したい。（現在は理事の半数を外部団体の方をお願いしている）
- ②一般法人へ移行を進める方針について（認定法人は一般法人を取得してからになる）

【①について】

市川：組織の中で会長・副会長の所属はどこか。

青木：理事会内に属する。

市川：県理学療法士会は常任理事が12名程度。理事が各局の担当理事を兼ねる。同様に県作業療法士会も理事が局の担当理事を兼ねるのか。

青木：効率的な運営や人材確保両面を前提に理事の配置も考えていく。

市川：最終決定は理事会で、運営会議とは別機能となるが、PT協会では効率化を図るために両機能を統合している。

青木：理事会と運営会議を機能統合すると、役割分担が不明確になるのではないか。この機会に新しい人材を発掘していくことも考えている。

理事の構成は県士会内部の人材とし、監査機能を外部の方をお願いするという案がある。

市川：内部会員で構成をし、外部監査をするのが望ましい。

竹内：外部評価委員会があるのが良い。外部監査は年に1回＋必要時程度が妥当ではないか。

新保：外部評価委員会を置かならば、理事会は内部会員で構成すれば良いと思う。

青木：外部評価委員会を設け、外部理事については義務化しない方針が良いか。また、組織図の変更に関しては、原案を元に検討を進めてよいか。年に一度外部監査をするのが妥当ということが良いか。→承認

青木：保険局を設ける必要があるか。

市川：日本理学療法士協会に保険部があり、県の窓口の設置を要望された経緯がある。情報交換や協会 ML を掲載する仕事をしている。訪問リハビリテーションに関する情報収集も行っている。

竹内：日本作業療法士協会から依頼はあるか。

青木：現在のところ依頼はない。

竹内：ST も PT と同じように、協会から県に窓口の設置を要望された。

市川：PT では協会からアンケート依頼が頻繁にある。アンケートに即時に対応できるようデータ管理を行っている。

青木：理事の意見をもとに検討したい。

【②について】

青木：一般法人への移行を進める方針について承認頂けるか。（認定法人化は一般法人を取得後に検討していく）

→承認

■事務所設置に関する事項について

青木：法人化移行準備として、10月1日から事務所を賃借した。事務用品などの備品購入のため、一般会計の予備費より支出をしたい。

→承認

青木：事務員を一名の採用する予定である。

勝野：以前、安曇総合病院リハ受付に勤務していた方である。

青木：11月1日付で雇用したい。

非常勤雇用契約書を作成したが、すぐに施行したほうがいいのか？

新保：すぐにあった方がいい。

市川：あった方がいいが、今回はアルバイト雇用であるならば契約書に縛られることはない。

青木：今後、雇用契約に関する事項を定款に盛り込む。

坂口：「会長の指示に従う」という表現を検討した方が良い。

市川：今回はアルバイト雇用か。アルバイトなら、契約書に縛られる事はない。

青木：今回はアルバイト雇用として処理する。

勝野：出勤頻度、勤務時間も明確に決定していない状態である。

市川：現在、県 PT 士会でも事務員を確保しているが、上手く機能していない状態にある。

青木：士会として人を雇用する事にも慣れていきたい。先方に子供がいるので、柔軟に対応する。

時給は1,000円で考えているが、他士会ではどうか。

市川：PT 士会では900円（税を抜いて）

新保：ST 士会では 1100 円。

青木：アルバイト雇用とし、時給 1000 円。年度契約で採用する。

→承認

【5】その他

1) 訪問リハビリテーション研修会について

青木：H24 年度の同時改定に伴い、代表者が研修を受けてきた。3 県士会の合同研修会を今年度企画していると報告があった。後援する予定でいる。

市川：事業計画には無いので、後援金のみを支出する事になっている。

竹内：今後は、3 士会で積極的に関わっていくべきであろう。

市川：協会から必要研修時間は 10 時間と言われている。リスク管理・救急時の対応を考えていく事が重要。今回は実務者レベルの研修になる。

青木：今回は後援金か協賛金のいずれかで、協力することにしていく。

→承認

3. 今後の主な日程

年 月 日	時 間	会 議 名	会 場	
平成 22 年	11 月 8 日	9:30～15:00	第 48 回長野県作業療法士会研修会	岡谷市男女共同参画センター
	12 月 10 日	19:30～22:00	第 200 回運営会議	安曇総合病院
平成 23 年	1 月 15 日	14:00～16:00	第 201 回運営会議	安曇総合病院
	2 月 6 日	10:00～12:00	第 19 回理事会	ホテルサンルート長野東口
	3 月 5 日	13:30～17:30	第 27 回長野県作業療法学会	浅間文化会館
	6 日	9:30～16:00		
	3 月 5 日	10:00～12:00	第 202 回運営会議	浅間文化会館
3 月 6 日	11:15～12:25	第 12 回総会（予算総会）	浅間文化会館	

→承認

議事録署名人

印

印